

～戦争法廃止！ 安倍改憲NO！ 東海第二原発廃炉～

緊急集会&デモ！茨城県民共同アクション！
文書を変えるな 総理を換えろ！



3月19日（月）午後5時半から、水戸駅北口で集会を開催し、同6時から集会参加者を中心に水戸市・南町でデモを行いました。集会は土田水戸市議会議員が進行役。最初に田中連絡会会長が情勢を報告。田中会長は緊急集会・デモを呼びかけた理由と「公文書改竄（ざん）は民主主義の破壊」を訴え、今後も安倍内閣退陣の取り組みを進める決意を表明しました。



茨城労連から岡野事務局長が、「裁量労働制」や「高度プロフェッショナル制度」の問題を発言。「労働法制を廃止して過労死を生むだけ」として、安倍政権を退陣に追い込む決意を述べました。

若者代表の入江さんは、安倍政権政治の私物化への怒りを表明。「主権者である私たち若者が一緒に声を上げよう。いやなことはイヤと言おう」と訴えました。最後に通行人から、安倍政権に対する怒りの一言が寄せられました。

集会終了後デモに移動。水戸市南町の宮下銀座入り口から同じ南町の自由広場まで、「文書を変えるな 総理を換えろ」「安倍内閣は退陣、（退陣）」などコールしながら、1km余をデモ行進しました。集会では用意したチラシ1000枚を配布し、6000円余のカンパが寄せられました。今回は降雨の予報を跳ね返してデモを成功させ、参加者は70人余名でした。

安倍政権 支持率急落！危険水域である30%割れ寸前！

学校法人「森友学園」への国有地売却の決済文書を、財務省が「改竄（かいざん）」していた問題で、国有地の激安払い下げに、安倍首相と妻の昭恵氏の関与が濃厚となりました。国会周辺では市民の抗議が連日行われ、16日（金）は、10,000人を突破しています。

安倍政権は「戦争法」や「共謀罪」など憲法違反の強行採決を何度も行い、憲法9条を無視して戦闘状態にある南スーダンPKO派遣しました。「武器輸出3原則によって禁止されていた武器輸出」を、「武器」を「防衛装備」と言い換えた「防衛装備移転三原則」を閣議決定し、「防衛装備（武器）」輸出を全面的に認めました。さらに自衛隊の「米艦擁護」や「敵基地攻撃型空母容認」するなど、日本を平和国家から戦争国家へ向かわせています。しかし今回、「公文書偽造」問題の発覚で、安倍内閣の支持率が急落。内閣維持の「危険水域」に達したと言います。支持率が20%を割ると「退陣水域」と言われます。

以下は各メディアの調査の結果です。（3/16～18に調査実施、前回調査は2月）

安倍首相の責任を厳しく問う声が相次ぐ！

- ・朝日新聞 支持率 31% (−13%)
不支持率 48% (+11%)
- ・毎日新聞 支持率 33% (−12%)
不支持率 47% (+15%)
- ・共同通信 支持率 38.7% (−9.4%)
不支持率 48.2% (+9.2%)
- ・NNN 支持率 30.3% (−13.7%)
不支持率 53% (+15.7%)



※注：「NNN」は日本テレビ系ネットワーク

また、朝日新聞では、「安倍首相の責任は大いにある」と「ある」を合わせて82%。毎日新聞では68%です。毎日新聞は、自民党総裁選で「安倍首相は変わった方がよい=55%ととしています。自民党は「3月25日の党大会で改憲の文案を決める」としていましたが、改竄事件を受け、執行部一任で取りまどめることができませんでした。（事務局）

武力では平和は守れない！

安倍9条改憲NO！笠間
主催の講演会「孫崎享さん
に聞く～危機にある東アジ
アの平和～」で、孫崎さん
縦横に語る！（3月18日：
笠間市友部公民館にて）



核兵器禁止条約の調印を求める陳情書

守谷平和の会

守谷市議会常任委員会

全員一致で採決！次は本会議

守谷平和の会が2月20日に守谷市議会に提出していた「核兵器禁止条約の調印を求める意見書提出を求める陳情書」に対して、守谷市議会総務・教育常任委員会に付託され、3月12日（日）に常任委員会が開催されました。

守谷平和の会から3名の役員が傍聴に参加しましたが委員会室に入れず、隣の部屋でのビデオで委員会の状況を見守りました。

常任委員は7名でした、内3名が討論に参加しました。終了後、委員長が「採決に入ります」と告げ、全員一致で採決されました。

議会の最終日は3月23日です。23日の最終日の本会議で採択されます。守谷平和の会では、本会議での採択に向け、各議員に資料を送り、理解を求める行動に取り組むことで、当日に賛成多数で採択されことを望んでいます。

（守谷平和の会 斉藤さんの報告）

平和新聞

2018年3月25日（日）

2164号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 **No. 803**

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

「PAC3の組み立て、作動確認、演練」やるな！ 「米軍機くるな！茨城県実行委員会」が抗議・申し入れ！



百里基地では、3月12日（月）午前6時半頃、PAC3（パックスリー）の訓練を行いました。百里反対同盟や県平和委員会など県内11団体が参加する「米軍機くるな！茨城県実行委員会」は、3月15日（木）午前10時から、緊急の「抗議と申し入れ」を行いました。

●PAC3は、20年ほど前の開発された、古くて役に立たないもの！

この訓練は「PAC3の組み立て、作動確認、撤収までの手順等を確認・演練」をしたものです。PAC3とは、米国製の地対空ミサイルである「パトリオット」を、弾道ミサイルの迎撃に特化した地対空誘導弾です。地上から発射して弾道ミサイルなどを迎撃し、1台当たりの最大で発射数は16発です。

PAC3は、そもそも20年ほど前に開発された古いものです。射程距離は約20km～30km程度で非常に狭い範囲です。マッ

ハ10くらいの速度で飛んで来るミサイルを、マッハ5ほどのPAC3で対処できるのか疑問を持たれています。

昨年11月にサウジアラビアの首都リヤドの国際空港にイエメンの武装勢力が発射したミサイル迎撃で、サウジアラビアはPAC3を5発発射しましたが、全て外れました。また日本で迎撃する場合は内陸の上空になりますが、破片の被害も心配されます。

北朝鮮から東京まで1300kmほどですからミサイル発射後10分弱で到達します。Jアラートや国が発行した「武力攻撃やテロなどから身を守るために」など、全く役に立たないというのが大方の一致した見方です。

●PAC3の本体価格は116億円、ミサイル1発が約5億円といえます。その他に整備やグレードアップにも経費が上乗せされます。

今年も「百里平和公園初午まつり」に参加しました！



【つくばみらい平和の会 5名参加・鴻巣記】

2月11日（日）小美玉市の航空自衛隊百里基地の誘導路を「くの字」に曲げている、百里平和公園で開催されました。

当日は風もなく、春が近づいてきたような日和でした。

ここで、少し「百里基地反対運動」の歴史を振り返ってみたいと思います。この土地は、百里が原と呼ばれる不毛の台地でしたが、明治以来開墾が進められていきましたが、1937年に海軍の飛行場が強引に建設されました。戦後は満州などからの引揚者や土地のない人々の開拓地となりました。開拓が一段落した1956年に自衛隊基地建設計画が持ち上がりました。様々な圧力の中で、多くの開拓民は土地を手放しましたが、その年には「百里基地反対期成同盟」が結成され、反対運動が小川町全体に広がり、翌年には反対派の中西きよ氏が当選（全国初の女性町長）して反対運動は多いに盛り上がりましたが、防衛庁は建設を開始、反対同盟と警官隊が衝突する事もありました。

国側の巧妙な懐柔工作の結果、1964年には滑走路予定の土地は買収され、「反対期成同盟」は解散しましたが、すぐに「百里基地反対同盟」が再建されました。そして誘導路を「くの字」に曲げることになった、基地内の買収されなかった土地を一坪ず

つ所有してもらった「一坪運動」で反対闘争は全国的なものに発展しました。現在は、「平和公園」として整備されています。「一坪運動」は現在も「平和地主運動」として継続しています。

式典は、反対同盟委員長 梅沢さんの挨拶に始まり、「自衛隊は憲法違反」として、闘ってきた、百里基地訴訟弁護団団長内藤功弁護士（風邪のため欠席）のメッセージを同弁護団の矢萩陽一弁護士が紹介しました、メッセージは「『憲法9条変えるな、3000万署名』を軸に必ず改憲策動を阻止しよう」と力強い言葉で結ばれていました。

乾杯は、県平和委員会の水野さんが「団結の力で改憲を許さない戦いを進めよう」と音頭を取り、お稲荷様の御神酒を戴きました。

乾杯の後、県内の平和団体、民主団体、政党からの挨拶があり、大会アピール文を採択してリレートークに移りました。

今年も東京から大型バスで東京平和委員会の方々も駆けつけました。御神酒と煮込みと赤飯を戴きながら、ヒューマンファーマーズの演奏と歌声を聞きながらの有意義な一日でした。（干し芋、季節の野菜などのお土産もありますよ！）

こんな危険な兵器を買うなら、貧困対策や医療など、国民の生活を守るために使うべきです。

「武器や戦力を強化して国民生活を守る」というのは、戦争放棄をうたった日本国憲法からも問題です。過去の経験からしても軍備の拡大は戦争を呼び込みます。戦争にならないための交渉を徹底すべきです。

●「門前で話を聞く」という不当な態度に終始した百里基地「米軍機くるな！茨城県実行委員会」では、「PAC3機動展開訓練」等は今後はやらないこと。訓練で使った「PAC3」は直ちに撤去することなどを小野寺五典防衛大臣、柏瀬静雄百里基地司令に申し入れました。

百里基地は「門前で話を聞く」という不当な態度に終始。緊急に参加した10数人は隊内で抗議と要請を受けることを主張しました。押し問答のすえに12時半を過ぎたため、今回は正門前での抗議・要請で終了しました。会では今後、監視を厳しくして、行動を速やかに取り組むことを確認しました。なお、PAC3は、現在撤収しています。

常陸太田市議会

「東海第二原発20年延長稼働反対 請願」趣旨採択！

太田平和の会など7団体・5個人が提出！

3月19日（月）、常陸太田市議会本会議で、太田平和の会など7団体、5個人で請願した「東海第二原子力発電の20年延長稼働に反対する意見書」の採択を求める請願と、「この意見書を関係機関に提出して頂きますよう請願致します」が、賛成多数で「趣旨採択」されました。これは、3月6日（火）常陸太田市総務委員会、6名の委員全員が「趣旨賛成」の発言をして採択され、19日の本会議で「趣旨採択」されたものです。

採択された「意見書」は、関係機関に提出されませんでした。しかし市議会として東海第二原子力発電の20年延長稼働に反対の意思を表明したことは「新安全（？）協定」の「一市でも反対なら稼働しない」（市防災課の認識）に照らすと大変重要なことだと思います。今度は行政の長・市長が20年延長稼働に反対の意思表明をすれば完全な「一市でも反対なら……」になります。皆さんの知恵をお借りしたいです。

（常陸太田平和の会 鈴木さん報告）